

# 農地集積面積が2年続けて年間目標の2,100haを達成しました！

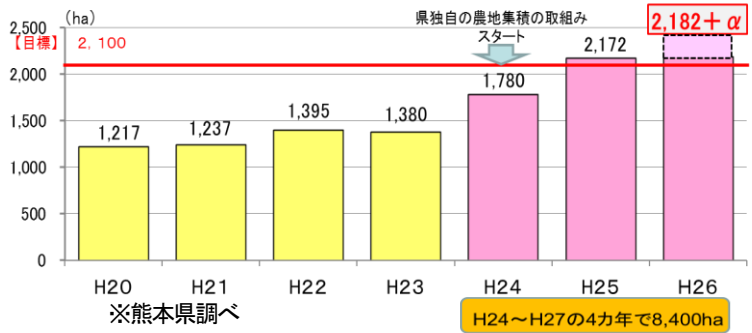
## ～関係機関の総力を結集した農地集積の加速化の状況について～

県では、担い手への農地集積を「幸せ実感くまもと4カ年戦略」の最重要な課題に位置づけ、関係者一体となった「ふるさと農地・未来づくり運動」の展開、農地中間管理事業の活用により、積極的に取り組んでいます。

**この結果、平成26年度の集積実績は、2年連続で年間目標を達成しました（県調査）。**

### 農地集積面積について

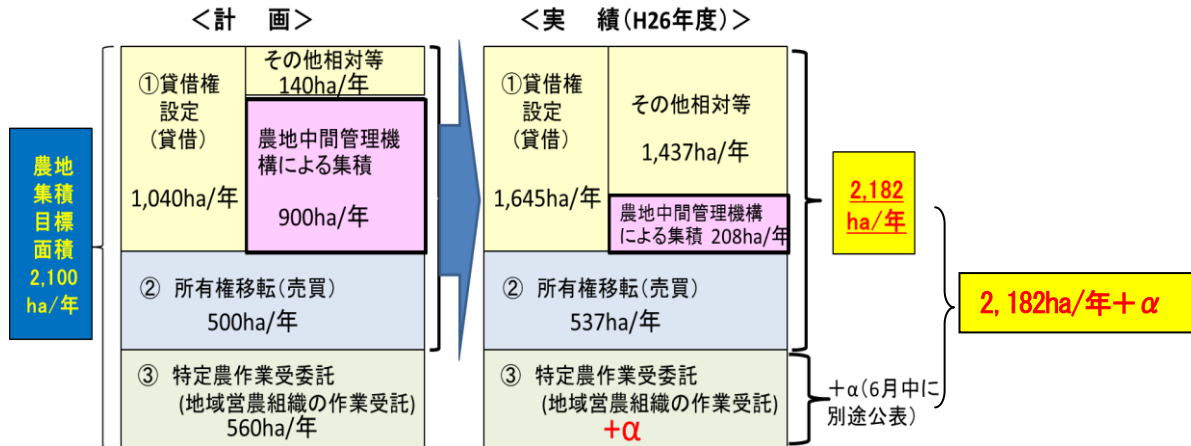
市町村、農業委員会、JA等関係機関が一体となった取組みにより、平成26年度の農地集積面積が2,100haを超える見込みとなりました。6月末には特定農作業受委託面積が加わり、実績はさらに増える見込みです。



### 主な実績について

- （農事）熊本すぎかみ農場や（農事）野口のような100haを超える農業法人が設立されました。また、中山間地域においても（株）百木ファームが設立される等、農地の受け皿となる法人が設立されました。
- 荒尾市川登地区、南関町肥猪地区において基盤整備事業と農地集積の一体的な取組が行われ、川登地区では、全農地の7割以上が担い手に集積されることとなりました。

### <参考>



※計画は、H26.6開催した「ふるさと・農地未来づくり運動」推進本部で決定  
 ※平成26年度の最終的な実績は、6月29日に開催する「ふるさと・農地未来づくり運動」推進本部で公表予定

農林水産部農地・農業振興課  
 作田、鳥井  
 内線 5437(直通)096-333-2376